

研究課題（テーマ）		オンライン英語学習プログラム	
研究者	所属学科等	職	氏 名
代表者	国際交流委員会	委員長	脇坂 暢
研究結果の概要			
ポストコロナ時代における国際交流・異文化への興味・関心を深め、英語の通用性に気づき、英語学習への意欲を向上させるため、マンツーマンレッスンのオンライン英語学習プログラムを希望者に提供した。 令和5年8月1日から令和6年1月31日までの期間、工学部、工学研究科、看護学部、看護学研究科に在籍する学生84名がDMM英会話によるオンライン英語学習プログラムを受講した。DMM英会話では、受講者自身が講師・日時・教材を自由に選択し、1日1回25分まで毎日24時間受講が可能である。 プログラム開始時と終了時にスピーキングテストとアンケートをそれぞれ実施し、スピーキング技能及びそれに対する自己評価の変化をプログラム実施前後で検証した。 参加者のうち10名程度が20回以上（週1回ペース）参加しており、最も多く参加した学生は118回（週4～5回ペース）参加した。 プログラム開始前のアンケートでは、参加学生のうち7割は「スピーキング技能があまり得意ではない」と答えていたが、プログラム終了後では9割近くの学生が「プログラム前より少し向上した」または「プログラム前よりかなり向上した」と技能向上を実感していた。 また、開始前の参加者のスピーキングレベル（DMM英会話独自に設定）は、多くはLevel3～4であったが、終了後、複数の学生でスピーキングレベルが向上し、Level5～6となるものもいた。			
今後の展開			
今後は、海外の教育研究機関との連携や学生の海外留学、国際学会での研究発表など、国際交流の更なる進展が予想される。熱意ある学生の英語学習への意欲を後押しするためにも、本プログラムによる支援を継続していきたい。			